

# 聖徳大学オープン・アカデミー（SOA）公開講座 聖徳OGが贈る♡介護のコツを知って、 楽しく〈快互〉（かいご）を目指しましょう！

令和7年度第I期	開講日時	テーマ	受講者数
A	5/17（土） 10:30～11:55	移動の介護①	受講者13名
B	5/31（土） 10:30～11:55	移動の介護②	受講者14名
C	6/14（土） 10:30～11:55	移動の介護③	受講者14名
D	6/28（土） 10:30～11:55	排泄の介護	受講者16名

※会場はA、B、C、Dすべて聖徳大学キャンパス  
 楽しく〈快互〉を目指しましょう  
 車いすの扱い方 簡単な散歩まで  
 福祉用具を使って移動体験

## 講座のねらい・内容

### 介護を“負担”から“快互”へ 知る・体験する・安心につながる講座

本講座は、本学の心理・福祉学部 社会福祉学科で培った知識と教育内容を、地域の方々へ広く還元する取り組みとして実施しています。

コーディネーターは社会福祉学科の池田静香教授、講師は全員、本学の卒業生で、介護現場で活躍する介護福祉士が務めます。

学内の実習室を活用し、受講者は実際に体を動かしながら、福祉用具の使い方や介護の基本的な知識と技術を学びます。

アットホームな雰囲気の中で実施されるため、受講者は日常の介護に関する疑問や不安を気軽に相談でき、現場経験を持つ講師から実践的な知識を得ることができます。

この介護講座は令和元年にスタートし、今年で7年目を迎えました。これまでに延べ330人が参加し、毎回「不安が軽くなった」「すぐに役立つ内容だった」といった声が多く寄せられています。介護に前向きな気持ちで取り組めるよう支援し、地域社会に安心と学びを提供する講座です。

なお、今年度は、異なるテーマで、秋（10～11月）2回、冬（1～3月）3回の講座を予定しています。



## 受講生の声

- ・今日のように楽しく、表現力豊かな講義をきけると、介護も楽しくなるのだと勇気をもらいました。
- ・介護は急にやってくるので不安でしたが、最低限必要な情報を学べて満足できました。
- ・介護現場での実践について具体的に教えていただき、とても参考になりました。
- ・福祉用具などの道具も実際に見てふれられ、とても参考になりました。
- ・相手の気持ちをプロの視点から具体的に教えていただけたので、声かけや動作の大切さがよくわかりました。

## 成果と課題

今後ますます需要が高まる「介護」に関して、受講者の悩みや不安を解消できる機会を提供し続けていることが、本講座の大きな成果です。また、大学の教育内容を地域に還元する社会貢献型の講座として、地域に定着しつつある点で好評をいただいています。一方で、体験型講座を実施しているため、内容によっては受講者の人数に制約があり、参加できない方が出ることが課題です。今後は、同じ内容で回数を増やすなど、多くの方に学びの場を提供できるよう改善していきたいと考えています。